

南富良野町地域公共交通会議

平成20年8月6日設置



概要

当町の交通体系としては、JR根室本線沿線に5つの駅があり、また、都市間バスとしては、旭川市から帯広市を繋ぐ民間バス事業者のバス路線の経由地となっている。一方、町内の公共交通としては、児童・生徒のスクール利用を兼ねて町営バスが運行している現状にあるが、利用者数の低迷や行政支出が課題となっており、さらに、郊外の小学校の統廃合も予定されているのが現状である。

以上のことから、スクールバスを含めた町内における総合的な交通体系のあり方の検討が喫緊の課題であり、深刻化する高齢化社会に対応した地域に最適な公共交通の検討を進めるところである。

○地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(落合駅・幾寅駅・東鹿越駅・金山駅・下金山駅)
- ・道北バス・十勝バス・北海道拓殖バス(旭川 - 帯広線)
- ・町営バス(2路線)

○地域公共交通の課題

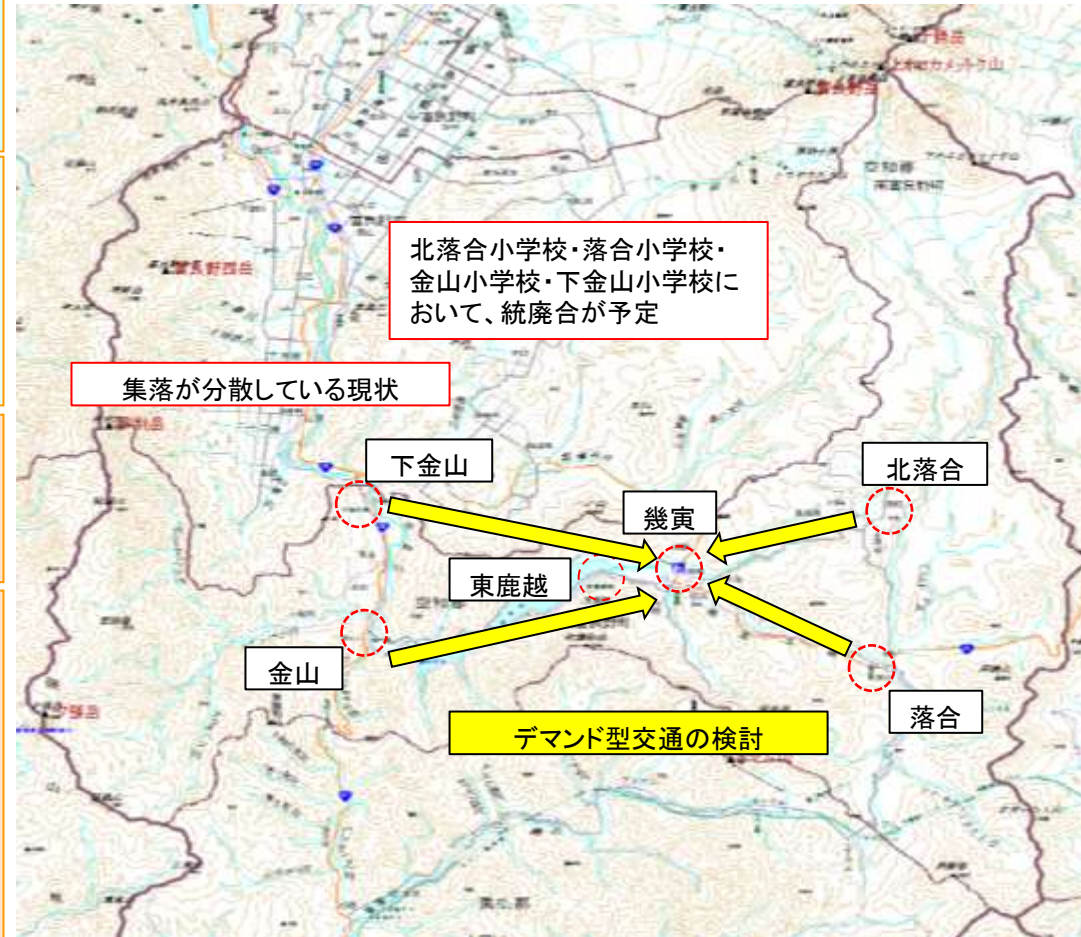
- ・時間帯によって町営バスの利用人数に偏りが生じ、平均利用数も3人/便程度と少ない。
- ・町営バスに対する行政支出が大きい
- ・小学校の統廃合が予定されており、町営バスのスクール利用の再編が必要

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・交通に関するニーズ調査(町民アンケート調査)
- ・町内事業者へのヒアリング調査
- ・計画策定

○地域公共交通会議開催状況

- | | |
|-------------|---|
| 平成24年 3月29日 | 平成24年度地域公共交通会議調査事業の実施について |
| 平成24年 8月 2日 | 認定の報告・委託事業者の決定・
調査方法の説明と調査結果のアウトプットイメージ |
| 平成24年12月 3日 | 町民アンケート調査結果について
町内事業者へのヒアリング調査結果について
地域公共交通確保維持改善計画の方向性について |
| 平成25年 2月 1日 | 乗合タクシーの導入方法の検討について
地域公共交通確保維持改善計画(案)について |
| 平成25年 3月27日 | 地域公共交通確保維持改善計画(案)について
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について |



南富良野町地域公共交通会議 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

■ 現況交通実態調査

地区別人口・高齢化率・施設立地状況等の整理を実施
町営バスの利用動向に関する既存データの分析を実施

■ 交通に関するニーズ調査

町民の日常的な交通実態及び公共交通の潜在需要やニーズを把握するため、15歳以上の全町民を対象としたアンケート調査を実施
【回収率等】回収率30.3%（配布：2,252票、回収：682票）

■ 町内事業者へのヒアリング調査

【ヒアリング調査対象】・幾寅交通
・幾寅診療所／落合診療所／金山診療所／けん三ことば館クリニック
・エコーブ旭川ふらの南ふらの店

●調査事業実施の適切性

地域公共交通会議が調査業務仕様書により提示した各事業内容について、適切に実施され、今後の計画策定に繋がる調査となった。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

【補助対象事業名】

地域内フィーダー系統確保維持事業

【事業内容】

現行の町営バスを需要応答型（予約制）のデマンド型交通へ変更する。

なお、児童・生徒のスクール利用については、一定の需要が想定されることから、児童・生徒の通学及び帰宅時間帯の運行便についてこれまで通りの定時定路線型の運行を実施する。また、デマンド型交通については、起終点固定型による運行形態を採用し、2台の現行町営バス車両による輸送を想定する。

【実施時期】

平成26年度～

（平成25年度においては、「南富良野町地域公共交通確保維持改善計画」に基づき、実証運行を予定する）

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

・実証運行の実施に当たっては、実施中や実施後に住民アンケートを実施すること。その際、実際に利用している人や今後確実に利用してくれる人からの声を確実に拾えるよう、質問内容を精査するとともに、結果を緻密に分析の上、ネットワーク計画の策定（特に便数等）に活用されたい。

・また、既存の公共交通（スクールバス、JR及び都市間バス）との役割分担や乗り継ぎの円滑化、町内全体の交通体系のあり方にも留意されたい。